［有明抄］（2018.4.25）

○朝鮮戦争についてまとめておこう。

＜背景＞

＜始まり＞

＜経過・停戦＞

○4 月 27 日以降の報道をみながら、首脳会談について意見・感想を書いてみよう。

年　組　号（氏名）

○今日の有明抄にタイトルをつけてみよう。

有明抄

平和を告げる春風が、朝鮮半島に吹きつつあるのだろうか。10年半ぶりの南北首脳会談が27日に迫った。70年近くの歳月、待ち続けた朝鮮戦争の「終戦」が議題になるという。実現すれば、まさに歴史的転換点になる◆同じ民族でありながら、3年におよんだ朝鮮戦争。いまは休戦状態であるという事実を「みんな知らなかっただろう」とトランプ米大統領が語ったのは印象的だった。犠牲者は360万人とも。生き別れになった家族は1000万人。高齢化が進み、会うことがかなわないまま、1人、2人と世を去っている。時間は限られている◆北朝鮮の核実験場廃棄には、「どうせまた嘘だろう」と冷ややかな反応も多い。約束しては破ってきた過去がある。しかし、今回ばかりは、北朝鮮が「自分たちが、まず非核化への一歩を踏み出す姿勢を見せることが大切だ」と考えたとすれば、それは歓迎すべきではないか◆〈満潮時に風をはらませて馳せよ〉は、機会の捉え方を船になぞらえたナポレオン3世の言葉。満潮と風、これは天が与える。だが、この二つがそろった時に船を馳せることができるのは人間なのである◆27日は、両首脳の握手する瞬間が生中継される。会場は板門店の韓国側施設「平和の家」。舞台は整った。あとは主役たちが帆を張って世界の期待にどう応えるかだ。（丸）

35　30　25　20　15　10　5